

## 平成 28 年度第 2 回県北広域振興圏地域運営委員会議 会議録

日時：平成 28 年 11 月 30 日（水）13:30～15:30

場所：二戸地区合同庁舎 1 階大会議室

### 1 開会

### 2 挨拶

#### 【八重樫局長】

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

8 月 30 日に上陸した台風 10 号により、県内では、20 名の方がお亡くなりになり、また、3 名の方が行方不明になっており、当広域振興局管内におきましても、甚大な被害が発生したところでもあります。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。県では、現在、皆様の暮らしが少しでも早く元通りになるように、市町村、関係団体と連携しながら、復旧に向けて全力で取り組んでいるところでございます。本年度は、復興実施計画第 2 期の最終年度という事でございます。今年は「本格復興完遂年」ということで、防波堤、基盤整備、復興まちづくりなど、震災からの本格復興を強く進めるという事、それからこれまでの課題を踏まえまして、次の第 3 期復興実施計画の策定を進めているところであります。県北地域の地域特性を生かした振興に向けましては、前回、第 1 回の会議で説明しました本年 2 月策定の第 3 期アクションプラン、これに基づきまして現在進めているところでございます。本日は、進捗状況について、皆様から御意見をいただきたいと思っております。

皆様からの御意見は来年度の事業などに生かしていきたいと考えております。委員の皆様は専門的な立場で、県北全体の復興・振興に向けて、忌憚のない御意見・御提言をいただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

### 3 議題

#### 【和山参事】

それでは議事に入る前に、配布資料の確認をさせていただきます。本日配布した資料が次第、出席者名簿、座席表となっております。次に資料No.2-4「平成28年8月30日台風10号岩手県河川被害状況」、最後が広報誌の北いわて最前線です。

それから事前送付した資料は、次第の下の四角で囲んでありますとおり、資料No.1-1~1-5、2-1~2-3となっております。恐れ入りますが、足りないものやお持ちでない資料がありましたら事務局まで申し出ください。

それでは議題に入らせていただきます。県北広域振興圏地域運営委員設置要綱第4の規定により、運営委員会議は局長が主宰することと定められておりますので、ここからは八重樫局長が議事進行いたします。

#### 【八重樫局長】

それでは議事を進行いたします。本日は、(1)第3期復興実施計画について、及び(2)県北広域振興局の復興施策について意見交換を予定しております。(2)復興施策では、今般の台風10号災害に係る河川等の被害について、簡潔に御説明させていただき、台風災害に関することを含め、御意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

はじめに第3期復興実施計画について、鎌田徳幸県復興局復興推進課推進協働担当課長から説明いたします。

#### 【鎌田復興局復興推進課推進協働担当課長】

(資料No.1-1~1-5について説明)

#### 【八重樫局長】

それではただ今説明いたしました内容について、委員の皆様方から御意見を頂戴したいと思います。

**【安藤委員】**

私は漁業が仕事なので、漁業についてです。養殖施設など復興として次のステージに行く途中に、台風 10 号の被害がありました。台風 10 号については、下安家漁港が大変な被害にあって、流木がとても取りきれないくらい詰まったが、迅速に対応していただいて、ありがたいと思っております。1 月の時点で野田港の備蓄のアスファルトがめくれて、砂がバーっと拵がったままになっています。そこを仮でもいいので、重機などを使って、砂を端に寄せていただければ、それだけでも現場では作業が進む。9 月までは、ずっと放置された状況で、これはいつ直るんだと他の人に聞いてもみんな分からない状態で、予算とか色々なことはありますが、柔軟な対応をお願いします。災害があったとき、仮でもいいので、修復するなど柔軟な対応をしていただければ、現場の方も作業しやすくなると思います。そこら辺をお願いしたいと思います。

**【八重樫局長】**

27 シート目の被災者の現状の資料があつて、災害に強いまちづくりの達成度はプラスになったということですが、野田の防潮堤などはどういう感じですか。プラスになったと感じていますか。

**【安藤委員】**

そうですね。すごいのができそうだなという感じで、完成したら本当にすごいと思います。

**【八重樫局長】**

木戸口委員いかがですか。

**【木戸口委員】**

そうですね。震災を受けたことで、両親を失った孤児の方に目が行くが、子どもたちの生活基盤ですとか、将来へ子どもたちが夢や希望に向かっていけるようにしてもらいたいと思います。5年前進学を諦めた子や、5年経った今、大学進学を諦める子など、社会福祉協議会においても、就学資金を貸し付けることで、進学は望みをつなげるんですけども、卒業して、就職すれば、就学金の貸付の返済が長期に渡っての負担が待っている。自分の将来に展望を抱けるには、貸付よりも給付形の制度も出てきています。震災の影響を受けた子どもたちの福祉に力を注ぐ必要があるのではないかと感じています。子どもたちは将来地域を支えるわけで、人材育成にもつながっていく、希望をもって生活していけるようにしていただきたいと思います。

**【鎌田復興局復興推進課推進協働担当課長】**

先ほどの説明で省略した部分ありましたので、御紹介したいと思います。

15 シート目です。震災遺児、孤児の方の支援金につきまして、金額は多くはないのですが、皆様からいただいた「いわての学び希望基金」というのがありまして、高校生など、就学向けの支援をさせていただいて、トータルで86億円くらいの寄付があり、遺児、孤児の方の給付金は、卒業するまで十分まかなえるくらいであります。ただ、大学進学などを考えると経済的な部分の課題ももちろんあります。

**【八重樫局長】**

それでは次の議題に入らせていただきます。「県北広域振興局の振興施策について」ですが、御意見をいただく前に、8月30日の台風10号にかかる河川被害について、桐野土木部長より御説明いたします。

**【桐野土木部長】**

(資料No.2-4について説明)

**【八重樫局長】**

それでは台風災害に関わることなど含め、「県北広域振興局の振興施策について」、1人4分程度を目安に、委員の皆様から御意見を頂戴できればと考えております。第1回の会議とは逆回りの順番で、今回は成田委員からお願いできればと思います。

### 【成田委員】

台風災害を中心に話したいと思います。資料No.2-4の6ページ目ですが、浸水している箇所以外でも、大川目の方も大変な被害があったと思います。私の店も半壊して、久慈秋祭りも中止になり、仕事にも影響が出ている状況です。今仕事している写真の①と②と⑤のあたりでは、昔から商売をしている店が密集しているところであり、後継者がいないなど自分たちが暮らしていけるかどうか、切羽詰って考えている人が多いです。補助金、支援金等のところでも、説明会などが開かれれば200名以上の人達が行くようですが、国や県に申請する際にパソコンで作るものが多く、高齢者の方などには難しい。そこでやむを得ず商売を辞めるといった話も聞こえてくる。自営業などのお店が大変な状況になっています。

### 【八重樫局長】

支援金などの申請につきましては、だいぶ高齢者の方が多いんですね。説明会などもありますが、県でも各階で相談事務を行っておりますので、利用してほしいと思います。色々と支援できることがあると思います。何かあれば、まず経営企画部に御連絡いただければと思います。

### 【長坂委員】

農業分野でいいますと、農協が被災してしまっていて、道路も通行止めになったりしました。そろそろ米の収穫時期なのですが、米の品質を落としてしまったという事もあったり、田んぼの水路では、何人かで通している水路では県や市の方でも直してくれるだろうと思うが、個人の水路の復旧は無理かなといわれているので、どうにかその辺をやっていただければと思っています。春までには、作付けをできるように早い復興をお願いしたいと思います。上限が40万円でそれ以上は個人負担だよと言われてます。河川の近くなら直してくれると思うが、自分の山から自分の水路を使って流れている場合、直すのは難しいかなという状態です。

### 【八重樫局長】

色々考えて制度設計しているところですが、中々どこを基準にして、やっていくかというのは厳しいと思います。場所によって被害の受け方も違うでしょうし、久慈の担当の室長もいないのでちょっと持ち帰らせていただきます。

#### 【田口委員】

私は保健委員ということで出席しております。健康面について、岩手県は、脳卒中死亡率ワースト1ということで、保健師さんから塩分の取り組みをしているということで声を掛けられたので、塩分濃度測定を2週間実践してみました。理想は、女性の場合の塩分は7グラム、男性の場合は8グラムと言われましたが、実際は、9から10グラムくらい取っていました。こういう取り組みをすることによって、普段の食事の塩分など気にするようになりました。体にどのような影響があるかは分からないですが、塩分を取りすぎることにより、体にとっては不利なことは分かっておりますので、みんなにも体験してもらいたいと思います。保健師さんも住民のために一生懸命やってくれているのだから、住民も応えるべきだと思います。

それと今似鳥の方で、砂防ダムを作ってもらっていますが、今回の台風10号の被害など見ると、岩泉の方では、台風10号の影響で砂防ダムの上を水が流れたりしていました。砂防ダムが決壊したわけではないが、砂が溜まった上で、水が流れたりすると、砂防ダムの脇の方も土砂が崩れたりしていました。専門的なことは分からないが、砂防ダムに砂が溜まったら砂を取らないとだめなのではないか、心配です。今作ってもらっている砂防ダムは作ったらおしまいなのでしょうか。台風10号の災害が起こらなければ気にしなかったが、ダムを作った後はどうするのか疑問に思っています。

#### 【藤井二戸土木センター所長】

今似鳥の沢のほうで砂防ダム作っているのですが、ダムの方は、ほぼできました。砂防ダムを作ることにより、今まで急だった沢が、緩やかになったりですとか、そういったところで、いきなり土砂が来たりすることはなくなります。ただ、だんだん施設が古くなってくると、砂が溜まってきたりしますので、年に1回、点検は行っております。

## 【十文字委員】

この間、台風 10 号のあと、久慈市にボランティアに行きました。一日だけのお手伝いでしたので、大したことはできませんでしたが、その時の感想を織り交ぜながら話したいと思います。10 時から 15 時という短い時間であってもお手伝いした事になるんだなという、敷居が低いということは経験しないとわからないことでした。テレビでも報道していたが、久慈市も岩泉町もボランティアがなかなか集まらなかったの、なんとかならなかったかなと思います。今の日本人全般的に腰が重い状態があると思うので、そこを何とかする雰囲気作りがなかったかなと思います。確か大震災の時は、二戸市と野田村が仲良くして、お手伝いしていたが、エリアで言えば二戸市と久慈市は一体であり、九戸政実などで交流もあるだろうし、もっと、お手伝いなどを、する、される、ような関係作りをできないかなと思ったところです。近くの人が行く雰囲気づくりが大事だと思った。やっぱり、困ったときにボランティアに来てもらうには、近隣が困っていたときにボランティアに行くなど、ホットな関係になればいいと思う。

あと先ほどの資料の中にもありましたが、一番気になるのは、宮古と室蘭のフェリーの往復、実際、どういう業者さんがどういう思いを持って進めているかは分からないが、沿岸、宮古、三陸というと、どうしても水産業のみというイメージがある、水産業の復興と、生活環境の整備で終わってしまうと、どうも殺風景に見えてしまう。なので、海に向かったの新しい雰囲気作りがもっとできないかなと思う。その中でも、フェリーというのは、人を乗せて往来するわけですから、すごく価値があるので、是非実現できればなと思っております。私事ですが、山に住んでいるので海に対する憧れが強く、震災前あたりに沿岸に小屋を建てようかと思い、色々探したが、規制に阻まれたりして、そのうち震災がきてそれどころではなくなってしまった。もっと柔らかい、楽しめるような三陸のイメージを作っていかなければならないと思います。

あと、雇用機会の確保など、地元定着のところなんですけど、バラ色の都会のイメージが結構あると思うので、高校生などかなりの率で出て行ってしまう。なので、高校生のみなさんに、都会のメリット・デメリットなどわかっていないと思うので、憧れのイメージが強いまま都会に出てしまっ、行ってから戻ってくる方、それはそれでいいが、もうちょっと、高校生の皆さんにメリット・デメリットをダイレクトに伝えるということもあっていいのではないかと考えているところである。

あと、自殺について、前回も言わせていただいたが、精神的な病に関する本など読んでいるのですが、内向的に考えて心身に異常をきたすのは、最新の医学においては、食べ物の影響がすごく大きく出るということが分かってきている。お肉をたくさん食べて、脂ぎっている人は心の病を抱えている人はあまりいないわけで、逆に栄養が足りなくて、体も弱っている人は、悪いループに陥って、自殺してしまうというケースが結構多いような気がする。だ

から、お肉をいっぱい食べた方が健康に生きられると思います。子どもの頃の我が家の食事は、米が8割という感じの食事でしたので疲れやすかったりしました。私の嫁は仙台出身なので、結婚してからは料理にお肉ばかり出てきたので、食べていたらとても元気になりました。偏ることはよくないので、地元のお肉も米も野菜もバランスの良い食事をとることが、自殺を減らすことにも繋がるのではないかと考えている。あるいは、冬岩手は雪が降りますし、外に出るのが少なくなると、気持ち的に落ち込んだりすることもあると思います。スポーツをしたり、外に出て太陽を浴びたり、これは必要なことだと思うんですけど、それをやらないでいることは自殺に関わっていく事なのではないかなと感じていますので、そういうアプローチはどうかと思った次第です。

### 【八重樫局長】

色々と御意見いただきました。ボランティアについては、県としても、三陸鉄道やバスを無料にしたり、来ていただきやすいように、そういう取り組みはしましたが、近くの方のボランティアは不足していたのは事実です。それは今後考えていく必要があると思います。

若者定着の話ですが、久慈地域で言うと、去年は4割は地元定着していて、それ以外は県外へ出てしまうという状況です。これにつきましては、ハローワークなどとも連携をとりながら考えていきたいと思っております。特殊事情といたしましては、久慈市は八戸市とも近いですので、そちらの方に就職したりですとか、すぐ隣なのですが、県外に出てしまったということになりますので、それを含めると、5割以上は地元のすぐ近くにいるという事ですので、徐々に回復していくのかなと考えている状況です。

自殺対策ですが、何年か前ですが県内でも久慈地区が一番自殺率が高くて、色々対策をとっております。現在では一番高いという事はなくなっていますし、良くなってきていると思います。確かに食べ物というのは大事だと思いますので、そちらも含めた対応を考えていきたいと思っております。

観光客につきましては、あまちゃん効果もまだ残っていて、久慈では増えていますし、二戸の方も徐々にではありますが、微増の傾向であります。今年は「もぐらんぴあ」もできましたし、あまちゃん関係ではまだ、県外からの観光客もいらっしゃいます。今後もっと力を入れていきたいと思っております。

### 【木戸口委員】

台風 10 号の災害では、41 日間、全国からボランティアに来ていただいて、400 件のニーズに対して延べ 3,642 人のボランティアの対応になりました。やはり一件あたり一日では終わらない作業でして、水害の土砂がすごく、大変な中での作業となりました。そこで感じたのは、水害に対してのプロというか、そういうことに慣れた方の情報が必要、災害が起こって対応が難しい状況の中で、災害の状況も分からない中での作業は混乱が生じたりしました。ただ、被災を経験した方からの支援などもあり、感謝をしたいと思います。あと、大学生がバスで来た時に、久慈管内は宿泊場所がなかなか無く、市内の旅館施設なども災害にあっている状況でしたので、お客様を泊めるというような状況でもなく、民家の方の家を提供していただいたりしました。全国から来ていただいたのはとても助かり、ボランティアの中には野宿とか、一週間も車の中で寝泊りしながらボランティア活動をしてきていた方もいらっしゃいました。

あと、成年後見制度利用促進に向けた取り組みが 3 年目になりますが、二戸地域にはカンオペア権利擁護支援センターがあり、県内でも成年後見制度に関して先をいっている。久慈地区につきましても、岩手いきいき財団の助成事業、いわて保健福祉基金助成を受け、実務者研修をはじめセミナー等も開催させていただきました。これを機会に職員の情報交換しながら研修をする事業を続けていきたいと思っています。今年度につきましては県北広域振興局の地域経営推進費で継続できましたし、その甲斐あって久慈管内の 4 市町村が、久慈の成年後見センターの共同設置について話を進めており、12 月に協定を結びます。こういった形では県内初だと思います。久慈地域の認知症の方とか、精神障がい者など、判断能力が不十分な方々への支援ができる体制ができます。県の方で後押ししてくださったので、4 市町村も動いてくれました。感謝を申し上げます。

### 【八重樫局長】

成年後見制度については、引き続きよろしく申し上げます。宿泊施設については、ビジネスについても久慈地域は宿泊施設が足りないと言う事で、その辺は課題の一つかなと思っております。

### 【小野寺委員】

カイゼン塾に関しましては、継続して支援していただいております。地域の方とも連携をする機会を作っていただきまして、人材育成の部分がいい方向に向いてきているのではないかと思います。私の生活圏は、軽米町なのですが、いわて国体の会場でもありましたので、台風10号の被害にあわれた方には、恐縮ですが、盛大に開催させていただきました。街中の災害につきましては、私も消防に関わっている関係もございまして、各河川の巡回、軽米町の河川は2箇所ありまして、その河川の水位、避難勧告などありまして、活動させていただきました。昨今問題になっていましたが、国の避難指示情報、準備情報等をなかなかうまく発信することができなく、反省会をしました。また、河川におきましては、10数年前の水害の時に似たような状態で氾濫した経緯がございまして、河川の改修をしていただきまして、今回は氾濫はなかったわけですが、改修工事の設計のときには、もっとうまく流れて、下水が下であったはずなんですけど、あの時はこれで十分ということで設計を進めて、我々住民はもうちょっと設計量を多くしていただけないかとお願いしていた記憶があります。十分水害に対応できるのではないかとこの事でしたけど、設計時と状況が変わっており、川底が上がったりしています。また、我々軽米町の方では、沢の方の被害が多かったです。川の方ばかり注視していましたが、沢の方が被害が大きかったなという風なことで、情報収集の課題が残ったかなという感じです。これから、我々の地域も冬のシーズンに入りますますが、県北地域では風雪が多く、我々の会社でも、カシオペア4市町村、八戸の方からも通勤に来ていますが、除雪がきちんとしていないと、就業に影響が出たことも何日かありましたので、昨年も風雪の影響で倒木などがありました。住民から見ますと、対応が遅いなと思いました。除雪の時間とか設定があるようですが、我々の始業前には終わっていると助かります。圧雪になってからの除雪よりも、圧雪になる前の除雪の方が作業も楽なのではないかと思います。去年は雪が少なかったが、今年は多くなるのではないかとこの気がしていますので、事故のないように就業通勤の前に行っていただきたいです。予算の都合など大変なこともあるかと思いますが、その辺をよろしく願いしたいという風に思っております。

### 【藤井二戸土木センター所長】

消防関係では色々とお世話になりました。雪谷川については、時間も経って川の中に生えている木もどんどん大きくなってきていますので、その辺も少しずつ切っていきたいと思っております。あとは、川の中にどうしても土が溜まってしまふ、その除去も順次していきたいと思えます。それと除雪ですが、倒木になった場合は、特に電線に引っかかって木が倒れてしまふケースが多いです。そうすると電力やNTTなどの対応も必要になってきて遅れている場合があります。除雪の場合はなるべく早く行方ようにしているのですが、遅れてしまふ部分もあるのかなと思えますので、その辺も少し確認させていただきます。

### 【大建委員】

先日の台風10号の被害の時には、被災地に助けに行く方々が泊まって、部屋がいっぱいになってしまふ、観光の方が泊まられなかつたりしました。ボランティアの方から、軽米町に行きたいとか、久慈市に行きたいというお電話をいただきましたが、泊まれる部屋がなく、駐車場でも構いませんということだったんですけど、そういう周りの人がどうしても助けに行きたい場所なんだと、受け入れる側としては思いました。

避難訓練とかは個別で毎年やっていると申すのですが、地域で避難訓練をやったことがないので、例えば二戸で、大きな道路が2本あるが、川が氾濫して、どちらも通れないとなった時に、両端と両端の人はどうしたらいいのかなとか、そういう訓練なども必要なのかなと思えます。

あとは他県や海外からも観光に来てくれる方が多いのですが、震災後から岩手県はどうなっているんですかと聞かれたりします。こちらの方も、まだ震災復興途中ですが、元気だという事をPRしないと、いつまでも震災のイメージのまま定まっているので、元気だとアピールすることも必要だと思えます。先日いらつしゃった海外の方は震災のイメージを未だに持っていて、来れないかと思つたて言う方も結構いました。国体直前の台風でしたので、それでも国体を開催して、他県の選手団からも岩手県ってすごいねと励ましの言葉をいただきましたので、心配してくれる方々にもPRする必要があると思えます。

### 【八重樫局長】

震災の海外へのPRはどのように行つていたでしょうか。

### 【鎌田復興局復興推進課推進協働担当課長】

多言語化が進んでいないのが現状であります。復興のあゆみという10ページ程度の冊子には英語版があることから、それで復興が進んでいるということが説明できるのではないかと思うので、必要があれば準備したいと思えます。

### 【大崎委員】

震災関連の資料については、非常に見やすかったと思います。私の情報をキャッチする力が弱いかもしれないが、普段こういう場がないと復興の進捗状況について目にしないことから情報公開はされているのか疑問に思いました。関東の友達などに復興状況を聞かれても分からなかったりしているが、今日もらった資料などは分かりやすくいいと思いました。

林業について、炭については私の家では、父の代で廃業になると思います。悲観的に言っているのではなく、時代の流れや、生活様式の変化があつたりしますので、仕方がないことだと思っているのですが、こういう予期せぬ災害があつた場合、山が荒れていたりすると災害の規模が大きくなってしまふのではないかと危惧しています。資料を見ると新規就農者、農業ですと4名など、具体的な数字を見つけられたのですが、林業の方は具体的な数字が見つけられなかったの、林業についてもっとPRしていくべきだと思います。

### 【鎌田復興局復興推進課推進協働担当課長】

今回いろいろな調査の結果自体はそれぞれ、HPに載っているが、逆に細かい情報まで入りすぎていて、今回の会議に使うような、抜粋したものについては、説明しながら使ったりしますので、公表まで行っていません。情報提供のツールとしては、復興だよりというものがあり、月に2回発行で、〇〇商店街が再開しましたとか載っていますので使っただけだと思います。後日復興局を通じて、資料について提供させていただければと思います。

### 【阿部二戸農林復興センター林務室長】

農業の方の後継者は、数字等で見られるが、林業の後継者はどのような状況かという内容のご質問でした。久慈での取り組みになりますが、久慈農林の後久慈東高校になり、そちらの生徒を対象に職場体験という形で林業、伐採業者さんなどの職場を見て体験してもらっています、農業の場合、家で農業をしていて、後を継ぐことにより後継者ということになっていると思いますが、林業の場合は、森林を持っているだけで後継者とは考えておりません。所有者ということではなく、林業労働者、そちらの方での従事者ということと考えております。例えば、伐木業で働く方、それから森林組合等で働く方々は、緑の雇用で、何人も森林組合や木材業者等に就職しています。岩手県の取り組みとしては来年度から森林アカデミーという事で、今10名くらいの方の応募があります。来年学校が開校されるときに、すでに応募がされているという状況にあります。それでは、全体の林業労働者の動向についてですが、だいたい底をうっているという形で、ほぼ横ばい、例えば浄安組合という熱心な組合がありますが、そこは平均年齢30代後半で若い方が多いなどの例があり、林業後継者の問題についてはそれほどビックリするほど増えている訳ではありませんが着実な歩みを進めている状況でございます。

### 【安藤委員】

漁業の方もですが、後継者問題があります。なかなか担い手がない、今まで親がやってきた後を継ぐという形で今までやってきたが、段々それも苦しくなってきた、担い手を見つけるのが大変な状況になってきました。山田町の稚貝出荷というのをやっております、作業をしていて、フェイスブックでアルバイトを募集し、一人だけ来てくれました。若い子でしたが、色々組合長の所で作業をして、漁業に触れ合う体験をして、堅苦しくなくしました。県の方では秋ごろ、9月、10月に盛岡で漁業就業フェアというものをしたと思うのですが、何名くらい来たかとか、成功例などを聞きたい、遠いところからきて、新たに漁業に携わった方の成功例を聞きたいと思います。また、いいアイデアがあれば教えてほしいです。

### 【石田水産部長】

最初に漁業の就業フェアということで、全国的に農業や漁業のマッチングが行われており、県では7月に盛岡で行ったのですが、参加者が11名ほど、上は30代で一番下は高校生が2人ありました。やはり収入のこととか、どこに住んでどう暮らすとか、いわゆる漁業に就業するだけではなくて、そこで定着して生活するまで全部セットで説明していかないと、そこに暮らしていく実感が出てこないという話もありました。我々としても水産業の就業だけではなくて、例えば野田村に住んで、生活費をどう周りで支援して、漁業就業を続けていくかというところまで、トータルでフォローしていくというのがないと、なかなか外から来て、やろうというようなきっかけ作りには手薄だと思っております。市町村とも話をしながら、受入体制をしっかりとろうというのがひとつです。あと国の方も、就業2年間で、月に手当てを15万円支給されながらという就業促進制度はあるのですが、生活面と合わせた形でないと難しいと思うので、これからはそちらのほうにも力を入れたいと思っております。あと、県内で、外から来た就業希望者というのは、漁業というのはよく分からないという方が多いのですが、中身を見ると漁業技術のみがく職人的な部分があります。そうすると丁稚奉公みたいな修行のようなところもありますので、時間がかかるという事もあります。最初は雇入れの漁業から入っていただくという事を中心に考えています。定置網という漁業がありますから、そこへの就業ということで考えています。直近では大槌町では、埼玉県からきてそこで就職して3年間働いているという事例もありますので、そういう事例を積み重ねていきたいと思っております。漁家の子弟さんが一旦東京に出て、Uターンして家業を継ぐという形がほとんどで、久慈管内でも毎年4人から6人くらいは就業している状況です。

#### 4 その他

##### 【八重樫局長】

そろそろ予定の時刻に近づいてまいりました。本日は大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。いただきましたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます、「北いわて」を元気にしてまいりたいと思いますので、これからもご指導、御鞭撻をよろしく申し上げます。

その他ですがなにかございますでしょうか。何もないようですので、以上で議事を終わらせていただきます。

#### 5 閉会

##### 【和山参事】

それではこれもちまして、平成 28 年度第 2 回地域運営会議を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。